

## サメへの理解をフカめる 東シナ海に生息するトガ リツノザメとツマリツノザメの資源生物学的研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2023-05-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 矢野, 寿和 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/323">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/323</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# サメへの理解をフカめる

## 東シナ海に生息するトガリツノザメとツマリツノザメの資源生物学的研究



海洋生産管理学科  
矢野 寿和

### 研究の目的

サメ類の多くは硬骨魚類と比較して成長が遅く、成熟年齢も高齢で産仔数も少ないです。このような生物特性を有する種は過剰な漁獲圧に対し脆弱で、過度の捕獲によって個体数が激減すると考えられています。また、サメ類は高次捕食者としても知られるため、個体数の減少によって海洋生態系の均衡が乱れる恐れも指摘されています。そのようなサメ類とジョーズに付き合うことを研究の目的としています。

### 研究の成果

調査や解剖によって得られたデータを解析した結果、東シナ海に生息するトガリツノザメとツマリツノザメの食性や栄養段階に加え、成熟サイズを明らかにすることができました（図1）。

この他、両種間で水平および鉛直方向にすみわけを行っていることや、各種内において体サイズに基づき生息地を分離することも明らかにしました（図2）。研究成果は論文としてまとめ、学術誌にて公表しました（<https://doi.org/10.1071/MF19131>）。



図1 トガリツノザメ(上段)とツマリツノザメ(下段)。眼と吻端との長さ(赤矢印)や胸鰭の形状(青矢印)に基づいて種判別を行う。

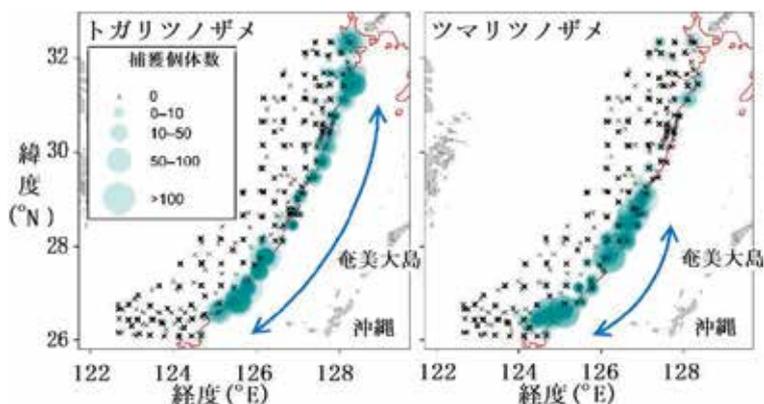


図2 東シナ海におけるトガリツノザメ(左図)とツマリツノザメ(右図)の水平分布。両種は200m等深線上(赤実線)に分布するものの、トガリツノザメの分布域はツマリツノザメよりも北方へ広がる。

### 波及効果

- ・海洋生態系の保全を前提とした水産資源の持続的利用に貢献します。
- ・絶滅危機種の保護や管理に有効な情報を提供します。